

日中観光におけるチャーター便の 役割に関する研究

呉 春濤

日中観光における地域観光の発展のために特別に貢献しているものとしてチャーター便が挙げられ、またこれは観光客を増やすための主な手段になっている。本論文は2つの研究目的がある。それは、(1)チャーターの影響や役割について地理学的な分析を行うこと、(2)中国の内陸都市におい

て訪日HICの現象とマーケティングを明らかにする、ことである。

研究方法として次の2点を行った。

一、航空データから抽出した要素を図式化・解析する。

二、事例研究。観光客へのアンケート調査を行い、HICの観光客と定期便観光客の間での相違点を見つめる。また、旅行者へのキーパーソンインタビュー調査なども行う。

結果として、以下が明らかになった。

一、データの分析により、国際チャーター便が日本の地方空港に大きな影響を与えることが明らかになった。インバウンドHICが便利的なアクセスを提供することによって、新しい観光地の開発に著しく役割を果たしてきた。

二、チャーター便は定期便よりも多くの空港に運航している。日中観光におけるチャーター便は定期便よりも多くの空港に運航しており、地方空港と国際観光地とを繋いでいることが明らかになった。チャーター便の発展は定期便の就航に繋がることで新たな観光の市場を作る。一方で定期便の影響も受けており、発展が制限されていることが示された。

三、日本地方空港発のチャーター便による訪中旅行が変化したプロセスを明らかにした。また、目的地の変更や季節による大きな変動は、これら目的地の持続的な発展を難しく

しているという事実が明らかになった。

四、中国内陸都市の訪日HICの現状を明らかにした。チャーター便によるパッケージツアーの旅行期間が短くなっている。仕事がある人にとっては、大きな利点となっている。卸売旅行代理店は日本へのチャーター便はリスクの大きく、収益が少ないビジネスであると考えられる。目的地の手配費用と関係の親密さ（信頼度）に従い、目的地の空港を選択する。また、空港と宿泊施設の間の移動時間は、空港の使用料と設備基盤よりも重要なことである。